

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月27日

上場会社名 株式会社 ミスターマックス
 コード番号 8203 URL <http://www.mrmax.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財経本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 福

(氏名) 平野 能章

(氏名) 中野 英一

TEL 092-623-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	25,748	9.7	279	473.2	334	279.5	259	—
21年3月期第1四半期	23,470	—	48	—	88	—	△963	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	7.78	—
21年3月期第1四半期	△27.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	71,501	21,561	30.1	644.85
21年3月期	70,225	21,417	30.5	640.60

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 21,542百万円 21年3月期 21,401百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	50,300	1.4	400	3.7	500	1.0	300	—	8.98
連結累計期間	101,200	1.5	900	33.6	1,100	33.9	700	—	20.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他を参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他を参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	39,611,134株	21年3月期	39,611,134株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	6,204,433株	21年3月期	6,203,528株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	33,407,142株	21年3月期第1四半期	35,220,954株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後、個人消費や気象条件など様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期において、ディスカウントストア事業を行う(株)ミスターマックスは、ヒット商品の発掘とともに、特に購買頻度の高い消耗品について、エブリデイ・ロー・プライスの実現に向けて、年間を通じて安定した低価格でご提供できるよう取り組みを強化してまいりました。

また、前会計年度中に一部店舗で開始した「医薬品」や「日配食品」の販売のうち、「医薬品」の取り扱い店舗は、6月にショッピングセンターの改装を実施した「MrMax柳井店」(山口県柳井市)を加え、5店舗に拡大しました。また、「パン」の取り扱い店舗を全42店舗中29店舗に拡大するなど、新品种の導入にも積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期において、酒類の売上が前年同期比3億53百万円(68.7%)増加した他、飲料の売上が前年同期比2億4百万円(14.7%)、プライベートブランドの米の売上が前年同期比1億44百万円(64.2%)、日配食品の売上が前年同期比1億51百万円増加するなど、食品の販売が好調でした。また、インフルエンザ対策用にマスクの売上が前年同期比67百万円増加した他、衣料用洗剤・柔軟剤の売上が前年同期比1億30百万円(25.3%)、殺虫剤の売上が前年同期比67百万円(32.5%)増加し、ジェルスカーフを含む「ひんやりジェルマットシリーズ」の売上が前年同期比58百万円(307.5%)、韓国生まれの基礎化粧品「BBクリーム」などポイントメイク化粧品の売上が前年同期比57百万円(145.0%)増加するなど、ヒット商品の販売も好調でした。

当第1四半期の連結経営成績は、MrMaxの既存店客数が前年同期比8.6%、既存店売上が前年同期比8.8%増加したことにより、売上高は246億83百万円(前年同期比10.2%増)、不動産賃貸収入は10億64百万円(同0.2%増)となり、それらの合計である連結営業収益は257億48百万円(同9.7%増)となりました。また、販売費及び一般管理費は、6月に実施した「MrMax柳井ショッピングセンター」(山口県柳井市)の改装経費63百万円や売上増加に伴う物流費の増加54百万円を、減価償却費の減少77百万円や広告宣伝費の削減70百万円等で補い、58億49百万円(同0.0%増)となりました。その結果、連結営業利益は2億79百万円(同473.2%増)、連結経常利益は3億34百万円(同279.5%増)と、ともに増益となりました。

前年同期末の四半期純利益は、「棚卸資産の評価に関する会計基準」適用初年度にあたり、期首棚卸資産の変更差額10億26百万円を特別損失に計上したことにより、9億63百万円の損失でしたが、当第1四半期における純利益は2億59百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債・資本の状況

(総資産)

当第1四半期における総資産は、売掛金や商品の増加などにより、前連結会計年度末に比べ12億75百万円増加して、715億1百万円となりました。

(負債)

負債については、短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ11億31百万円増加して499億39百万円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の純資産からの控除額が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億43百万円増加して215億61百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益は3億27百万円となりましたが、売上債権が10億24百万円増加したことなどにより、営業活動により使用した資金は、5億20百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

預り敷金・保証金の返還や出店予約金の支出などにより、投資活動に使用した資金は、2億82百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、短期借入金の増加などにより1億16百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期末における現金および現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ6億87百万円減少し、14億91百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年7月1日付にて、当社が所有していた(株)ピーシーデポマックス(現(株)ピーシーデポ九州)の株式をすべて(株)ピーシーデポコーポレーションに譲渡しました。このため、当第2四半期以降、(株)ピーシーデポマックス(現(株)ピーシーデポ九州)は、当社の連結対象外となります。

当第1四半期の既存店売上は当初見込みを上回りましたが、消費環境は依然厳しいことから、平成22年3月期の業績予想につきましては、第2四半期、通期とも、平成21年5月15日発表時の業績予想を据え置くものとします。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目等を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 商品の評価基準及び評価方法

従来、商品の評価基準及び評価方法については主として売価還元法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、物流センター内の商品については、評価方法を移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。

② 税金費用

従来、税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、原則として年度決算と同様の方法により計算する方法に変更しております。なお、法人税等の納税額の算定に関しては、加味する加減算項目等を重要なものに限定しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,497	2,176
売掛金	2,197	1,151
有価証券	48	59
商品	8,781	7,757
貯蔵品	59	60
その他	1,266	1,318
流動資産合計	13,850	12,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,702	15,867
土地	27,367	27,367
その他(純額)	908	912
有形固定資産合計	43,979	44,147
無形固定資産	381	341
投資その他の資産		
投資有価証券	532	431
その他	12,787	12,811
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	13,289	13,213
固定資産合計	57,650	57,702
資産合計	71,501	70,225

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,424	13,084
短期借入金	1,700	280
1年内返済予定の長期借入金	7,258	7,583
未払法人税等	79	332
賞与引当金	209	364
店舗閉鎖損失引当金	384	384
その他	3,606	3,591
流動負債合計	27,662	25,620
固定負債		
長期借入金	14,025	14,852
退職給付引当金	461	447
その他	7,790	7,888
固定負債合計	22,277	23,187
負債合計	49,939	48,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	9,951	9,951
利益剰余金	3,955	3,862
自己株式	△2,541	△2,540
株主資本合計	21,594	21,502
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△53	△103
繰延ヘッジ損益	0	2
評価・換算差額等合計	△52	△101
少数株主持分	19	16
純資産合計	21,561	21,417
負債純資産合計	71,501	70,225

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	22,406	24,683
売上原価	17,573	19,619
売上総利益	4,833	5,063
不動産賃貸収入	1,063	1,064
営業総利益	5,896	6,128
販売費及び一般管理費		
販売費	1,227	1,224
一般管理費	4,620	4,625
販売費及び一般管理費合計	5,848	5,849
営業利益	48	279
営業外収益		
受取利息	23	24
受取手数料	45	61
仕入割引	45	48
その他	44	25
営業外収益合計	158	160
営業外費用		
支払利息	87	80
その他	32	24
営業外費用合計	119	105
経常利益	88	334
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2
テナント解約収入	14	2
その他	0	—
特別利益合計	14	5
特別損失		
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	—	5
固定資産除却損	5	3
たな卸資産評価損	1,026	—
特別損失合計	1,032	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△929	327
法人税、住民税及び事業税		61
法人税等調整額		2
法人税等合計	31	64
少数株主利益	3	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△963	259

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△929	327
減価償却費	463	385
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	△206	△155
受取利息及び受取配当金	△25	△29
支払利息	87	80
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5
有形固定資産除却損	5	3
売上債権の増減額(△は増加)	△619	△1,024
たな卸資産の増減額(△は増加)	476	△1,022
仕入債務の増減額(△は減少)	419	1,371
その他	445	△148
小計	123	△191
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	△78	△73
法人税等の支払額	△18	△262
営業活動によるキャッシュ・フロー	32	△520
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△99	△49
無形固定資産の取得による支出	△69	△75
投資有価証券の取得による支出	△24	△36
投資有価証券の売却による収入	0	21
その他	△114	△142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307	△282
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△160	1,420
長期借入れによる収入	3,000	1,000
長期借入金の返済による支出	△2,072	△2,152
配当金の支払額	△161	△151
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	606	116
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	331	△687
現金及び現金同等物の期首残高	1,250	2,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,581	1,491

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。